

今年は速さを見せながらもマシントラブルに接触などで結果が残せてない中、ホームコースの岡山国際サーキットに戻ってきました。

今回は岡山国際のN1ロードスターレースのシリーズチャンピオンの村上を筆頭にN1出身の脇谷選手に初参戦の梶谷選手の3名で戦います。



9月4日 金曜日 公式練習 1枠目は毎回、村上がコースインレマシンの最終チェック。ドライバー交代の練習も兼ねて脇谷に交代して走りますが思ったよりタイムが伸びず。2枠目はいきなりの雨でしたが雨だとコースに慣れておりトップタイムに近く走れることが分ります。3枠目は1分46秒302でクラス10位。脇谷選手も順調にタイムを刻み明日の予選が楽しみです。

9月5日 土曜日 公式予選日 今回はフリー走行ではなく午後から決勝のグリッドを決める予選タイムアタックです。予選20分前に暖気を始めようとしたらエンジンが掛からない。時間が無い中、国松&橋本メカが応急処置してくれてAドライバーの村上がコースイン。電圧が低く電動ファンが使えないので1周のアタック開始。素晴らしい集中力で1分44秒78でトップから0.7秒のスーパーラップでライバルを驚かせます。Bドライバーの脇谷選手は気合い十分でコースイン。戻ってくると良い位置だと思ったら赤旗中断。再スタートでアタック開始しますが思ったよりタイムが伸びずに終了。それでも昨年より0.5秒は速くなり確実に進化してますね。合算タイムで明日の予選は14位からのスタートになりました。Cドライバーの梶谷選手も冷静に予選時間一杯走り切りレースに向けて貴重な練習になりました。

9月6日 曜日 決勝 朝から予報通りの雨です。我々はホームコースですので雨には慣れているので恵みの雨だなあと思いながら朝一のフリー走行。コースインしてすぐに好感触でクラス2位のタイムで減衰を調整してコースインしたらミッショントラブルでピットに戻ります。決勝までにメカ達が懸命にミッション交換作業してくれ、無事に完了。雨だったらチャンスあるなあと思いながら雨乞いです。が、残念ながら雨が降らない。スタートは村上選手がクラス14位から上位を目指してグリッドに並びます。そしてグリーンライトで3時間耐久スタート。雨に強いFFのシビックとインテがスゴイ勢いでも猛ダッシュを決めていく中55号車の86を2コーナーでパスして2週目に52号車の86をパスここから前のエンドレスを追い掛けますがなかなか抜かせてくれない。数周のバトルの末に最終コーナーでの一瞬のミスを見逃さず1コーナーでインに飛び込みパスしてそのままの勢いで前の集団を追いかけます。30分のスティントでBドライバーの脇谷選手に交代。1時間のスティントですが路面がどんどん乾いていきスリックタイヤに交換のチームが出てきます。ここでドライタイヤを選択してラスト90分村上選手に交代してコースイン。直ぐに良いペースで走り上位を追いかけていきますがWヘアピンでGT-Xクラスにエンドレス86にもう1台で3ワイドになり一瞬のミスで痛恨のスピン。バックで操作しながら上手く側面から壁に当たり損傷なく直ぐにコース復帰しますが数台に抜かれました。前を追いかけていきますがラスト30分でセーフティカー。再スタートでしばらく走りますが燃圧が安定しなくてラスト5周と言われてペースダウンしようか迷いますが「55号車が15秒前に居るから抜いてきて」と無線が飛び裏のヘアピンで何とかパスしますが5000回転でエンジンが息継ぎします。チーム全員で持ってくれ〜と祈りながら何とかチェッカー。難しいレースの中クラス9位入賞出来ました。チェッカー後はもう3000回転位でトボトボ走り今にも止まりそう。後1周あったらリタイヤでした。



Aドライバー 村上選手 予選ではホームコースの理を生かし速さを見せれました。決勝ではスピンをしまい悔しい思いをしましたがトップチームと戦いこれからが本当の勝負だと思います。

Bドライバー 脇谷選手 予選は気負ってしまいベストなタイムが出せませんでしたが決勝はしっかり自分の走りが出来ました。入賞も出来てうれしく思います。

Cドライバー 梶谷選手 今回、初参戦でしたがフリー走行、予選と走りすごく勉強になりました。少しずつなれて次戦は決勝も走りたいです。

総括 チームオーナー村上

今回はホームコースということで事前のテストもしっかり重ねて挑みました。残念ながらロードスターに得意な天候、路面にならずに残念でしたが予選も上位との差を埋められ、決勝も戦えたことは本当にいい経験になり次のステップに進めると思います。

次戦は最終戦になりますので集大成と思いい後悔の無いようにベストを尽くして走りますので応援よろしくをお願いします。

